



伝えたい!伝えてほしい!まちのこと



2月9日、りぼーる・たなかで「第1回プレゼンフェスティバル | N那須〜コミュニケーションで笑顔の町へ〜」が開催され、小学生9組と中高生6組が参加しました。児童、生徒たちは、「商店街PR」や「高齢者に優しい町」「篠細工」「消防団」など町に関わることをテーマに、町の現状について研究したことや体験したこと、考えたこと、これから実行したいことを堂々とプレゼンテーションしました。

コメンテータを務めた松中町議会議長らからは「町には、まだ知らなかった魅力があることに気づいた」「町が抱えている少子高齢の問題に目を向け、解決策を考えていることに感心した」「夢がある話、未来が明るく思える話が聞けて嬉しい」と各組ごとに感想が述べられました。また、発表者がクイズや質問を会場に投げかける場面では、参加者が笑ったり、驚いたりする姿が見られました。

決意と感謝〜14歳の思い〜

1月29日、那須中央中学校で立志式が行われました。立志式を迎えるにあたって、家の手伝いやごみ拾い、元気なあいさつなど取り組んできたことと、その活動をとおして「思いやりのある人」「人の役に立つ人」など、どんな人になりたいかを2年生96人が、一人ひとり発表しました。

親子での手紙交換が行われると、子の思い、親の思いに、会場は笑顔と涙であふれました。



地域と学校の協働をすすめよう!

2月9日、りぼーる・たなかで「第8回和い輪い学習フォーラム&那須町PTA連絡協議会研修会」が開催されました。那須小学校全校生による「那須音頭」の披露で幕を開け、学びの森小学校6年生が地域と合同でお祭りを開催したことや地域の歴史を調べたことを発表。また、那須中学校1年生が地域の方を講師に招いてヨガやギターなどに取り組んだ成果を発表し、那須町ジュニア学芸員が町の歴史的建造物をコンピュータ内に再現する活動を発表しました。地域と学校が連携して取り組んださまざまな活動の成果に、参加者230名が熱心に耳を傾けました。



学んで! 食べて! 生き生き那須町



2月3日、文化センターで「さわやかネットワーク那須」主催の「第15回みんなの集い in 那須」が開かれました。

「学んで! 食べて! 生き生き那須町〜男女に目指そう健康生活〜」をテーマに食品表示と那須ブランドについて研究したことを発表。参加者らに表示を見る習慣を身に付け、情報を正確に読み取ることの重要性を伝えました。また、那須町経済四団体推進連絡協議会が認定している「那須ブランド」の「食」部門には36品目が登録されていることをあげ、町には魅力ある食があり、食を楽しんでほしいと話しました。

桃の節句に向けて笑顔の花も咲きました



2月6日、音羽町集会所で黒田原第一和老会の活動「つるし飾りづくり」が行われました。皆さんとても手先が器用で、おしゃべりに花を咲かせながら、2時間ほどで可愛らしいつるし飾りを完成させました。